

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		排水路管理事業				②事業番号		6304	
③事業類型		4. 施設等維持管理事業		④開始年度		年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		法令		条例		規則		要綱	
⑦実施手法		直営		全部委託		〇一部委託		補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款		7		項		3	
⑨担当部名		都市整備部		⑩担当課名		下水道課		会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
①管理排水路		①対象地区		地区	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
要望等により、以下の業務を委託している。 ・排水路内の草刈 ・排水路の浚渫 ・排水路施設の修繕 ・排水路改修工事		①要望回数		回	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
排水路の機能を保持、改善し、良好な状態を保つ。		①修繕件数		件	
		②清掃件数		件	
		③工事件数		件	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
浸水被害防止のための排水施設の整備とその適切な管理・運用を進める。		政策(章) 5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち			
		施策大(節) 1 豊かな自然環境を維持・向上し、うるおいあふれるまちをめざします			
		施策中 1 河川・ため池の保全と活用			
		施策小 2 排水施設の整備			

〔2〕各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①		対象地区	地区	20	20	20	20	20	
対象指標②									
活動指標①		要望回数	回	0	3	2	2	2	
活動指標②									—
活動指標③									
成果指標①		修繕件数	件	3	2	4	3	3	
成果指標②		清掃件数	件	11	15	11	11	11	
成果指標③		工事件数	件	0	0	1	0	0	
事業費	投入人員	正職員	人	0.50	0.50	0.50	0.50		事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	人件費(投入人員＊単価)	千円	4,054	3,856	3,816	3,816		
		直接事業費	千円	3,659	2,303	6,040	1,567		
		総事業費	千円	7,713	6,159	9,856	5,383		
財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0		R2年度工事があつ たため、直接事業費 が増額となった。
	府支出金		千円	0	0	0	0		
	受益者負担金		千円	0	0	0	0		
	その他特定財源		千円	0	0	0	0		
	一般財源		千円	7,713	6,159	9,856	5,383		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	排水路の維持管理を行うことを目的として事業化している。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	農地の減少により、用水路としての機能がなくなり、排水路として管理する水路が増えてきている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

B

4. 総合評価

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞ ア ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 (年まで) (年から) (年から)	
＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—